満天の星空見上げ歓声響く

江刺区

衣川で「夏の流星を見る会」

流星を見つけ歓声を上げる参加者

夏の流星を見る会（北股地区振興会、衣川星を見る会の共催）が８月12日、同区北股地区の星空の広場で開催され、市民など約30人が参加しました。

晴天となったこの日、20センチ屈折望遠鏡などで月や土星の輪を観察。その後、天の川や毎年この時期に現れるペルセウス座流星群を肉眼で観察しました。

同広場にある望遠鏡は、平成12年に神奈川県立青少年センターから贈られたもの。これを見に来たという横浜市の小林信枝さん（40）は「小学生のころに覗いていた望遠鏡が衣川にあることを知り、見に来た。満天の星空に感激。ここが星空日本一というのが納得できた」と感無量の様子で話していました。

統合を前にもう友達だね♪

前沢区

前沢で「小学生のつどい」

小学生のつどいが８月２日、前沢区内４つの地区センター合同で、前沢いきいきスポーツランドを会場に開催されました。これは、前沢区の小学校統合を前に、多くの仲間を作ることを目的とした交流会。

区内の小学生69人が参加し、高学年はパークゴルフ、低学年はコーディネーショントレーニングを通して、交流を深めました。鈴木七葉（ななは）さん（古城小２年）は「しっぽとりが一番面白かった」と息を弾ませ、新しい友達ができたことを喜びました。

背中合わせで立ち上がる運動をする低学年の児童

スパコンの説明を聞く参加者

最先端スパコンに興味津々

水沢区

いわて銀河フェスタ2013

いわて銀河フェスタ2013（同実行委員会主催）が８月24日、国立天文台水沢ＶＬＢＩ観測所と奥州宇宙遊学館で開催されました。この日、国立天文台に本年度導入された最先端スーパーコンピュータ「アテルイ」を初めて一般公開。幅9.5㍍、高さ２㍍、奥行き1.6㍍という巨大なスパコンに、参加者は興味深そうに見入っていました。ほかにも、講演やアトラクションなど盛りだくさんの内容で、参加者は、最先端の天文学や宇宙のロマンに触れた１日となりました。

宮沢賢治にちなんで石採取

江刺区

江刺で「石の学習会」

賢治街道を歩く会（山崎勝会長）主催の「石の学習会」が８月８日、江刺区米里地区で開催され、市民や会員ら約40人が参加しました。

この学習会は「石っこ賢さん」と呼ばれるほど石集めが好きだった宮沢賢治にあやかり行われたもので、今回で４回目。初めに戸中（とちゅう）金山を見学した後、同製錬所跡隣接地で金探し。午後は人首川で石の採取をし、石灰岩や石英斑岩（せきえいはんがん）、凝灰岩（ぎょうかいがん）などの他、磁石にくっつく「餅鉄（べいてつ）」という石も見つけました。

採取した石の名前を原子内貢（はらしないみつぐ）先生（右から２人目）に確認する参加者

パドルを操りカヌーを楽しむ参加者

私も国体選手になれるかな

胆沢区

胆沢川カヌー体験会

胆沢川カヌー体験会（県カヌー協会主催）が８月４日、胆沢区若柳地内の胆沢川で行われ、市内の小学生16人が参加しました。ことしで３年目となるこの体験会は、平成28年のいわて国体で、胆沢川を会場にカヌー競技が実施されることから、多くの人にカヌーを知ってもらおうと行われたもの。

友達と参加した木下亜佳梨（あかり）さん（南都田小６年）は「初めは慣れなかったけど、だんだん速く進めるようになってうれしい。またやりたい」と話しました。

地域の声援を背に全力疾走

胆沢区

第59回奥州市胆沢区民運動会

第59回奥州市胆沢区民運動会が８月18日、同区南都田の胆沢陸上競技場で開催され、子どもから高齢者まで約1,500人が熱戦を繰り広げました。

59回の伝統があるこの運動会は、区内14支部の対抗戦で行われるもの。手をつないだままフラフープの輪をくぐり、ゴールを目指す「仲良しレース」に参加した上野（うわの）支部の高橋進さん（62）は「娘と同じくらいの人たちと参加できて楽しかった。10歳は若返りました」と声を弾ませていました。

仲良く手をつなぎゴールに向かう参加者

人力車の試乗を楽しむ来場者

明治時代の風情を今に伝え

江刺区

學生俥屋人力車無料試乗会

早稲田・明治・中央・法政大学など都内の大学生で構成する學生俥屋（片瀬将志頭領、部員30人）が８月15日、えさし藤原の郷で人力車の無料試乗会を行いました。この日は強い日差しが照りつける中、９人の部員が２台の人力車を引きました。

山形市から訪れた宮田未来（みき）さん（33）は、娘の紀紗（きさ）ちゃん（３）と乗車。「人力車に乗るのは初めて。今日はとても暑いけど、乗っているときに受ける風が気持ちよかった」と笑顔を見せました。